



# 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番  
(公) 043(222)7207番  
FAX 043(224)7197番

2001.1.19

№255

# 貨物関東支社「年度末効率化」提案

## — 175名の要員合理化と外注化拡大 —

貨物会社関東支社は、一月十日、「年度末効率化実施について」を提案した。この「年度末効率化」は、「新フレイト21計画の完遂を目指す業務体制の見直し」と称するように機関区貨車区二区の派出化、二派出の廃止など大規模な組織統廃合となっている。また大規模な作業体制の見直し、業務委託の一層の拡大が図られる内容となっている。

### 入換運転士の駅所属化や 運転士が車両留置手配も

今年度末合理化は、関東支社管内の機関区・貨車区・車両所合わせて△一一名、駅関係で△七三名、増が十名という大幅削減が提案されている。駅の増も六名は、入換運転士を駅所属(駅社員化)にするというものであり、運転士の多能化を狙っている。

提案では川崎機関区が新鶴見機関区、川崎貨車区が川崎車両所のそれぞれ派出に、黒磯機関区小山派出、高崎機関区高崎操派出が廃止、黒磯機関区宇都宮夕派出が隅田川貨車区の派出になる。また東

王駅の貨物業務が委託解消となることから、八王子総合鉄道部の被管理駅となる。

区関係では、管理・事務の見直しのほか、乗務員で構内入換運転士の委託(横浜羽沢八王子、新座夕)、駅社員化(越谷夕、竜王)、予備・指導員の見直しのほか、新たな内容として篠ノ井総合鉄道部で到着列車の貨車留置手配を乗務員が行うことが提案されている。検修関係では貨車関係の仕業検査体制、交番検査体制の見直しをはじめ、業務委託の拡大が図られている。貨車関係ではつい最近も津軽海峡線で車軸溶断による脱線事故が発生しているが、貨車検修の強化が課題になっているときに、こうした検修作業

の業務委託の拡大は運転保安上問題があるばかりでなく、直営の技術段差の拡大につながるものとなる。

### 反合・運転保安確立へ 部外委託の拡大を許すな

九四年十一月に提案された「フレイト21」は九五年度からの二年余で破綻し、九七年度から「新フレイト21」として五年計画で再施行され、鉄道部門六千人体制にむけたさまざまな合理化が強行されてきた。そのなかでも中心となったのが、早期退職制度と部外委託・外注化の拡大である。早期退職制度による五五歳退

職と新規採用の中止・中断は、職場を慢性的な要員不足に追い込むとともに、業務の外注化に拍車をかけることとなった。今日では六千人のうち半数の三千人強が乗務員という鉄道会社としても偏った人員構成となっている。しかも社員の高齢化は進む一方であることから、今後もこうした傾向は避けられない状況にある。

今回の合理化は、十二月のダイ改時の新小岩地区△二十名と合わせて一九五名の主要員合理化であるが、一方で運転保安の危機を一層深めるものとならざるを得ない。反合・運転保安確立の立場からも部外委託のこれ以上の拡大を許さず闘い抜こう。

これが運転関係、検修関係の大合理化計画だ

箇所別	職名	基準人員及び職名別					計
		管理	事務	運転士等	車両係等		
八王子総鉄部	現行	8	5	82	22	117	
	増減		△1	△8	△2	△11	
篠ノ井総鉄部	現行	8	4	48	34	94	
	増減		△1		△5	△6	
高崎機関区	現行	8	6	81	41	136	
	増減		△1		△2	△3	
" 熊谷、高崎操	現行	1			18	19	
	増減				△3	△3	
川崎機関区	現行	2	1		12	15	
	増減	△1	△1			△2	
新鶴見機関区	現行	12	8	144	31	195	
	増減		△2	△4		△6	
田端機関区	現行	4	2	61		67	
	増減			△6		△6	
黒磯機関区	現行	7	3	84	6	100	
	増減			△3		△3	
" 小山、宇都宮	現行	1			18	19	
	増減	△1			△14	△15	
東新鶴機関区	現行	9	4	76	36	125	
	増減	△1	△1		△13	△15	
川崎貨車区	現行	2	1		20	23	
	増減	△1	△1		△16	△18	
隅田川貨車区	現行	2	1		28	31	
	増減				△2	△2	
川崎車両所	現行	5	2		79	86	
	増減				△16	△16	
大宮車両所	現行	5	3		83	91	
	増減				△6	△6	

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!